

想いと繋ぐ

～事業承継コラム～



承継コーディネーター
野路 謙

第2回 事業承継のキーワードと実行のステップ

姫路城の大改修に学ぶ事業承継

私は、元々転勤族で、兵庫県の姫路市に7年間住んでいました。

姫路市といえば、1609年建築の国宝で世界文化遺産に指定された姫路城が有名です。

姫路城は、定期的に改修され、次世代へ引き継がれており、これをひとつの企業とみなせば、事業承継のキーワード【以下「」の部分】がちりばめられています。

直近の改修は、半世紀ぶりに2009年から2015年にかけて行われた平成の大改修です。

過去のデータから「計画的」な改修の必要性があり、どこを修理するか、現状を分析し、課題の「見える化」を行い、次の確かな修理等を行うことで次世代へ向けて城の「磨き上げ」を行い、同時に工事従事者の技術も承継されています。

姫路城は、別名白鷺城とも呼ばれています。屋根、壁等の漆喰の修復という「磨き上げ」により、工事完成後は、青空との対比で真っ白な城が大変美しく感動しました。

平成の大改修が、従来の改修と異なるところは、大天守の横に天空の白鷺と名付けたエレベータ付きの見学施設を建設し、工事の様子を観光客等に公開したことです。

通常、観光の目玉である大天守の工事中は観光客が減少しますが、今回は見学施設を建設し、逆転の発想で半世紀に一度しか見られない工事ということで観光客等を集め、「ピンチをチャンスに」し、見学者は約180万人に及びました。

次にキーワードを押さえ実際の事業承継の手順を見てみましょう。

中小企業庁が作成した『経営者のための事業承継マニュアル』によれば、関係者の対話を通じた想いの承継のなかで事業承継を実行するまでの5つのステップが示されています。

【ステップ1】
・事業承継診断等事業承継に向けた準備の必要性の認識

【ステップ2】
・ツールの活用等による経営状況・経営課題等の把握「見える化」

【ステップ3】
・企業価値を高めるための事業承継に向けた経営改善「磨き上げ」

【ステップ4】

・親族内承継等 事業承継計画策定
・第三者承継 マッチング実施

【ステップ5】

・親族内承継等 事業承継の実行
・第三者承継 M & A等の実行

後継者の有無により、ステップ4以降の手続きが変わっています。

なお、後継者の有無につき、福井県事業承継ネットワーク事務局が昨年県内の60歳以上等の経営者を対象に実施した『新型コロナウイルス感染症による事業承継への影響に関する調査』によれば、81・4%が後継者又は後継者候補がいるのに対し、18・2%が後継者が不在であるという回答結果になっています。

後継者又は後継者候補がいる方は、早めの「計画的」な事業承継を、後継者のいない方は、すぐに廃業を選択するのではなく、「ピンチをチャンスに」と発想を転換し、第三者承継も視野に入れてはと思います。当センターでは、ワンストップで事業承継全般の相談に対応しています。

お問合せ先

福井県事業承継・引継ぎ支援センター

0776(33)8279